サンシティホールの敷地内には、四季折々の草花が植えられています。春には桜が、所せましとその可憐な花を咲かせ、梅雨に入ると紫陽花が色鮮やかに咲きます。夏には向日葵がお日様に向かって背比べをするようにのびのびと咲いています。薔薇はサンシティホールの顔として色とりどりの花を咲かせて利用者の皆様をお迎えしています。

さて、皆さんはコキアという植物を御存じでしょうか？

別名「ほうき草」とよばれ秋には茎葉が美しい赤に紅葉する植物です。

サンシティホールでは、数年前から緑地スタッフがコキアを育て、落葉後は、草箒を作っています。通常業務の合間の時間に葉についている種を丁寧に取り、乾燥させて一本一本心を込めて作っています。草箒で落ち葉や枯れ枝を掃くと、そこらで販売されている竹ボウキよりも隅々まできれいにかき集めることができると評判です。

緑地スタッフが作った草ボウキで館外清掃スタッフが落ち葉を集める、これぞチームワーク!!

秋は目で楽しませてくれて、冬には箒となって私たちの役に立ってくれる、そんなコキアにも感謝です。

ちなみに、このコキアで作った箒は、スタッフの作業用としてのみ使用しており、販売していませんのであしからず。

① 紅葉真っ盛りのコキア

②落葉後のコキア

③植木鉢から抜き、陰干し
します

④十分に乾燥したら、葉に
ついている小さな種を取
ります

⑤ていねいに束ね
て根元を括ります

⑥もう一度小さな種や枝を落と
し、持ち手に縄を結わえたら手
帚が完成！長めの竹を差し込め
ば竹箒として使えます。